

請願第8号、第9号に賛成の討論です。

請願第8号（仮称）「ポートピア津幡」の建設計画の見直しを求める請願

百年に一度と言われている大不況の中、ポートピア建設が本当に町民のために必要なのか、あらゆる角度から慎重に審議すべきであり、見直しを求めるという請願です。

昨日の全員協議会で、町長の行政報告の中にもありましたが、今年に入って交通事故の死亡6件、それも北バイパスの周辺ばかりで、去年は3件なので、既にもう2倍になってしまった。県内最大の事故件数であり、全力を挙げて死亡事故を出さないようにしなくてはと、津幡署管内非常事態宣言をしたという状況にあります。

先日、警察でうかがったところでは、ポートピア予定地近くの緑が丘の交差点は、事故多発交差点で、20年度に4件もの事故がありました。今でさえ、一日1万5～6千台もの交通量があるそうで、舟橋ジャンクションの都会並みの複雑な車線合流に加え、ポートピアができることにより、バイパスが渋滞し、更に車の事故が増えることは容易に想像できることです。その対策のために、多大な公費が投入されることになることも当然予想されます。

ポートピアという大ギャンブル場ができることによって、青少年の教育の面からも、防犯、交通安全、環境の面からもさまざまな問題が懸念されるが故に、その対策が必要になるのであって、なければ余計な対策を講じる必要もないわけです。

これまでに何度も言ってきたことですが、何度でも言わなければなりません。場外舟券売り場、ポートピアは、レジャーとか庶民の気軽な遊びなどといえる代物ではありません。賛成派の議員が言われる、老人の憩いの場、夢と希望の施設などとはとんでもない。一攫千金を狙った賭博場です。

今年4月の新聞に横浜の中央商銀信用組合の職員が2年の間に、4億9000万円横領したという記事がありました。ギャンブルにつきこんだそうです。千葉県国保職員が、11億円を横領し、ポートピアに使って逮捕された事件も記憶に新しいことですが、ギャンブルには人間を不幸に陥れる危険性が大きいことは明白です。

お隣のかほく市は哲学の町、内灘町はエコ推進の町、それにひきかえ、わが津幡町は北陸初のポートピア誘致の町！ではあんまりではありませんか。本州最大を誇る県森林公園の入り口に、しかもNHK大河ドラマを町民一丸となって誘致して、わが津幡町を全国発信しようという時に！です。あてにならない僅かな環境整備費のために、津幡町のイメージも品格も失われるということです。

できてしまってから後で後悔しても遅いのです。ちょっと立ち止まる、慎重に考えてみる、津幡町の将来を思い描いてみる。孫や子どもたちのために、大切な津幡町のために！です。

請願第9号「町特別職の退職手当に関する制度の見直しを求める請願」

これは、4年の任期毎に支払が見込まれる町長の退職手当2018万4000円、副町長872万9600円、の町特別職の退職手当の見直しを求める請願です。

町長の職務は激職であるとかつてうかがったことがあります。しかし、この財政難の時代に2000万円を超える破格の退職金が一期4年で支払われるというのは、市民感覚をはるかに超えている制度ではないでしょうか。

一般企業なら、業績悪化で赤字ならば役員は報酬カット、退職金ゼロも覚悟しなければなりません。中小企業、個人企業の倒産も相次ぐ中、退職金なし、給料なしという生活を余儀なくされている人たちが増えています。

石川縣市町村職員退職手当組合負担金として、全額公費でまかなわれ、平成21年度津幡町当初予算では、職員分も合わせ1億7690万円の負担金が支払われています。

津幡町の場合、町の財政状況が厳しい、だからギャンブル場を誘致して、僅かな迷惑料をもあてにするのだとポートピア誘致の理由付けをしています。

退職手当組合自体もこのままでは必ず破綻するのは目に見えているので、見直しの必要性を考えているという状況にあると聞いています。多額の退職手当が任期毎に支払われる現行の制度は、抜本的な見直しが必要ではないでしょうか。